

【日時】 2011年12月27日(火)～30日(金)

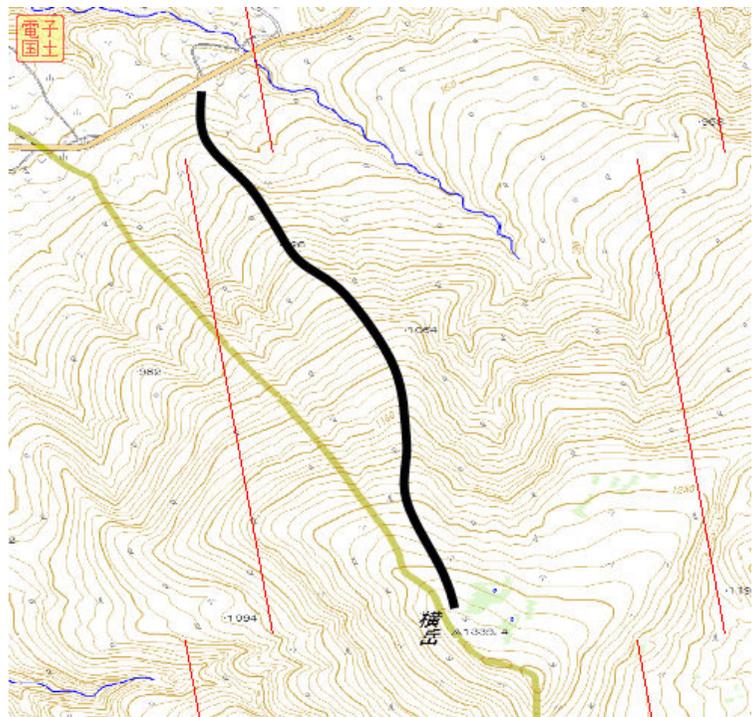
【メンバー】 中村 (L)、手嶋、佐藤、植島

『年末と言えば乳頭温泉』が3年続き、さすがにルートネタが尽きてきた。乳頭温泉に匹敵する場所をあれこれ探し悩んだが、年末に確実に雪がある場所ということで『八甲田』を選んでみた。

【1日目】 12月27日(火)：沖揚平～横岳1050m地点 [小雪]

夜通しの移動後、市場で刺身を買出しし、テントを設営。急いだつもりだったが、時間はお昼前となってしまった。しかし、こういう連続日帰りの山行は、初日の行動が肝心。初日でヒョルと全体的に締まらなくなる。天気もそれほど悪くないので、下見とトレース付けを兼ねて横岳に行くことに。

いざ取り付いてみると結構なラッセル。膝下くらいはある。900mくらいまでは斜度が緩く、小さな灌木が多いが、900m地点からブナの巨木帯となる。斜度もこの辺りから出てきてなかなか滑り甲斐がありそうだ。標高1050m、時間も2時半となったので、今日はこの辺りで止めておこう。ここまでトレースをつけておけば、このラッセルでも明日は山頂に到達できるだろう。



【2日目】 12月28(水)：八甲田スキー場 [雪]

テントサイトで昨晚から30cmくらいは積もっただろうか。夜中に2回くらい除雪作

業、出発前にテントの周りの雪を除雪。

昨日の下りラッセル状態の上にこの降雪では、今日はもう手の出しようがない。とりあえずゲレンデで様子見をするが、止むことなくどンドンと雪が降ってくる。おかげでゲレンデでも十分にパウダーを楽しむことができた。昼を過ぎても天気は変わらず、結局午後は早々に酸ヶ湯温泉で身体を休めることに。

【3日目】12月29日(水)：沖揚平～横岳山頂 [曇／小雪]

昨夜は気温が上昇したので、雪が締まっただろう。テントから出ると、小雪は降っているが、視界がある。これはチャンスだ。初日に途中までしか行けなかった、横岳をリベンジすることに。

一昨日のトレースは、跡形もなく、すっかり消えてしまっていた。しかし、予想通り雪は締まっており、通常のラッセルの範疇だ。これなら、上の方の斜度が緩くなった部分でも楽しめそう。

一昨日の到達地点を越えたところで最初の休憩。1100mくらいから、針葉樹が目立ち始め、斜度が緩くなる頃には、針葉樹の樹氷モンスターに囲まれるようになる。八甲田にしては天気がよく、津軽平野や、八甲田山の方も見える。しかし1300mを越える辺りから、ガスが出てきて視界がなくなり、風も出てきた。



樹氷モンスターの中を歩く

樹氷地帯特有の凸凹も増えてきて、滑るのが大変そうになってきたので、三角点のある1330m（実際の山頂はもう少し先）で打ち切りとし、滑走の準備に取り掛かる。

滑りはまずまず。締まり雪に20cmくらい新雪が積もり、比較的斜度の緩いこのルートには最適なパウダーだ。あっという間に、下りてきた。

車でテン場に戻る頃、急激に天気が悪くなってきた。低気圧がいよいよ近づいてきたようだ。諸事情あり今夜は酸ヶ湯の自炊宿泊。憧れの酸ヶ湯で一夜を過ごした。

【4日目】12月29日(水)：八甲田スキー場 [雪／晴]

帰りのことをあんまり考えていなかったが、行きの所要時間を考えると、昼過ぎには、帰路に着かないと終電に間に合いそうにない。最終日は黒森を半日ルートとして計画していたが、昨晚酸ヶ湯温泉の自炊宿に泊まってしまい、出発が遅れ9時とってしまった。黒森は八甲田山のちょうど裏側にあり、車での移動などを考える



と、下りてくるのは午後になりそうだ。いろいろ考えると、一昨日に続き、今日もゲレンデで半日過ごすのが妥当そうだ。ちょうど今朝から青森入りしていた鈴木パーティとも交流できるので、まあいいか。

一昨日に続き、今日もゲレンデパウダーを頂く。10時半くらいに、市場での買出しを終えた鈴木パーティと合流。前田夫妻と2回くらいゲレンデで滑り、昼食を食べ帰路に着いた。

八甲田——多少天気が悪くても、ヒョルことなく山に入るつもりだったが、2日で85cm（スキー場の積雪）も雪が積もってしまうと、手が出せない。地元のガイドに言わせると、「今シーズンの12月末＝平年の1月末」の積雪らしい。次シーズンは、荒天時のガイドツアーも視野に入れ、是非とも再挑戦したい。

【地形図】 酸ヶ湯

【行程】

1日目：スノーシェッド(750m 12:12)～1040m地点(2:32/47)～スノーシェッド(3:29)

3日目：スノーシェッド(8:44)～山頂(11:55/12:18)～スノーシェッド(1:10)